

平成27年度事業 参考資料

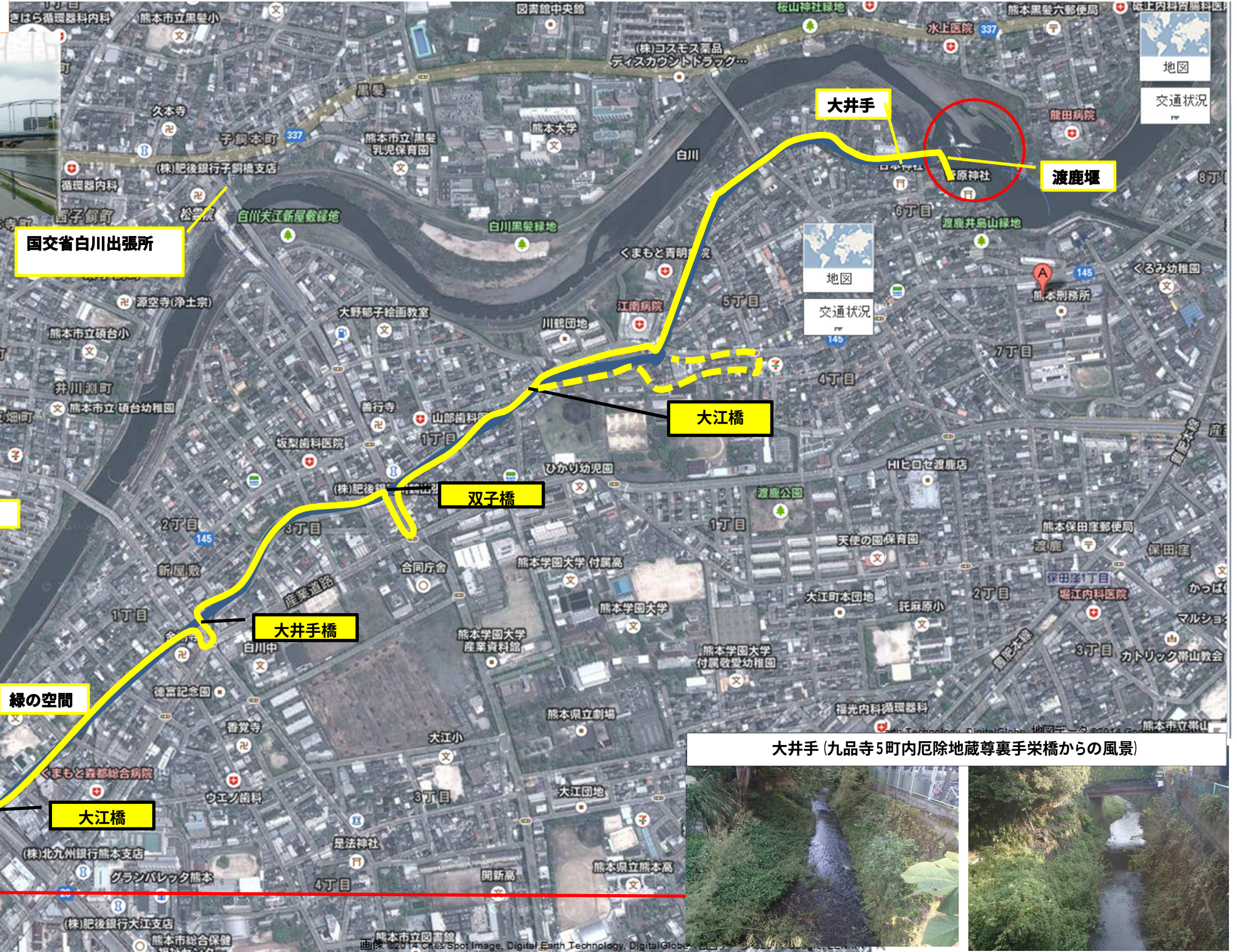
中央区まちづくり事業「井手の魅力再発見事業」～白川と渡鹿堰・大井手～編

大井手
まち歩きルート予定

白川右岸から見た風景



代継橋



大井手 (九品寺5町内厄除地藏尊裏手栄橋からの風景)

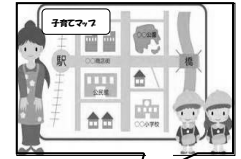


地図操作研修のご案内

この度中央区では、みなさまのご協力のもと、自治会エリアの校区地図と町内割りの地図を作成しました。

作成に伴い、地図データの使い方と活用の方法について、実際にパソコンを操作しながら確認していただける機会を設けました。（無料）

みなさまのご参加をお待ちしています。



○ 研修内容

コース区分	内容	募集人数	受講時間
1 基礎コース 「初心者向け」	文字入力等パソコン操作の経験がない方を対象に、Wordソフトの使い方を基礎から学びます。	28人/回	3回シリーズ (1回2時間)
2 応用コース 「中級者向け」	Wordソフトを用いて、図形の描き方を学習したり、実際の電子地図上に公民館や病院の場所を記入したり、色を着ける・写真を載せる等の操作を学びます。	28人/回	3回シリーズ (1回2時間)
3 電子地図作製コース (子育てマップ編) 「中級～上級者向け」	基本的には、校区毎のグループで作業します。お住まいの校区の電子地図上に、親子でお出かける場所や、子育て支援の情報を記載した子育てマップを制作します。	28人/回	3回シリーズ (1回2時間)
4 電子地図作製コース (高齢者マップ編) 「中級～上級者向け」	基本的には、校区毎のグループで作業します。お住まいの校区の電子地図上に高齢者が集う場所や、高齢者の見守りに役立つ情報を記載した高齢者マップを制作します。	28人/回	3回シリーズ (1回2時間)

◇コースを選ぶときには以下のことに気をつけてください◇

- ・研修受講者を各コース毎1校区に6名程度選出してください。なお、同一の方が複数のコースを受講することもできます。
- ・裏面の日程表にて**時間・受講日**をご確認ください。
- ・電子地図作製コース（3・4）については、できるだけ同一の校区から複数名で同じ日程を受講してください。

- 会場： 中央公民館 4階 パソコンルーム
- 費用： 無料 （パソコン・テキストは、会場に準備してあります）
- 申込方法： 別紙の申込用紙で中央区役所保健子ども課へFAXにて
お申し込みください。 **FAX: 322-3781**

- 申込締め切り： 7月22日（水）

【受講する際の注意点】

* 研修中のデータを保存したい方は、記録媒体（USBなど）をご持参ください。

* 会場までは、公共交通機関をご利用ください。
敷地内の駐車場は使用できません。

【問い合わせ先】

中央区役所保健子ども課
地域健康班

TEL: 328-2419

平成27年度熊本市中央区地域コミュニティづくり支援事業採択団体一覧

校区・町内		事業名	事業の内容	予定事業費	採択額
町内自治会	1	出水南 7	身近にある国際貢献を 広めよう事業 自治会活動（町内に住む外国人の母国に対する海外貢献）を住民に広めることによるさらなる活動への理解と協力を深めるための事業。 多くの住民が集まる夏祭りにおいて、昨年までの支援に対する講演を在日ギニア人であるオスマン・サンコン氏に依頼し、さらなる町内、校区内への活動の活性化につなげる。 H25年度：出水南小学校PTAと実施し、ダンボール70箱分の物資を支援 H26年度：出水南小学校PTA、熊本ロータリークラブ（熊本市内小中学校への呼びかけ）を実施し、1850個のランドセルと文具を支援	302,292 円	151,000 円
	2	出水南 8	町内夏祭り活性化事業 ①新名称横断幕2枚の作成 ②新名称応募者への記念品の購入 昭和54年度より毎年8月に開催。町内唯一の亀継公園で実施。ステージ、踊りなど住民手作りの余興、焼きとうもろこし等の夜店が数十店、会場には提灯を数百個飾りつけるなど町民の工夫がある。	103,200 円	51,000 円
	3	出水南 9	防犯パトロールで健康管理と維持増進事業 「防犯パトロールをしながら、ダイエットで健康になろう」をコンセプトに町内を防犯チョッキ着用し、万歩計を持って歩き、防犯と健康づくりのための運動の定着を図る。パトロール前後に、血圧、体重を計り、歩数を記録する。使用する機器はNFC対応であるため、カードリーダーにかざすだけで、血圧、体重、歩数は自動的にサーバに保存される。インターネット回線を利用し、登録された個人のデータは自治会長宅（自治会事務所）のパソコンやテレビ、公民館のモニターで見ることが出来る。歩数、血圧、体重はグラフ化して見ることができ、体調の変化や頑張り度が一目でわかる。また、記録したデータをみて、保健師さんのアドバイスを受けることが出来る。	289,234 円	144,000 円
	4	黒髪 18	黒髪校区18町内コミュニティ活性化事業 草刈機を2台購入し、坪井中央公園の草を定期的に刈ることにより、坪井中央公園を中心にした、町内コミュニティの活性化を図る。	51,987 円	25,000 円
	5	砂取 6	命をつなぐ防災倉庫の設置と防災意識の喚起事業 ①水前寺成趣園内に防災倉庫を設置（水前寺成趣園管理者出水神社の了解済） ②防災訓練の実施	839,160 円	300,000 円
計				1,585,873 円	671,000 円
校区自治協議会の構成団体	1	一新まちづくりの会	一新校区むしやん良か 新町の町録(武者頭)の拡大・拡充事業 平成23年に16年ぶりに復活した町録だが、当時資金難のため、等身大の武者首2基を作成するに留めた。今回江戸時代に奉納されていた武者首を古絵から寸法を測り作成し、伝統・文化を継承し祭りの拡大に貢献する。	432,000 円	216,000 円
	2	託麻原校区社会福祉協議会	託麻原校区町内支え合いチームづくり事業 1. アンケート調査（生活支援の助け合いに対するニーズの把握） 高齢者に関する自治会と老人会での日頃の活動の中で、あるいは今後の活動を見据えての課題や困りごとを抽出する。アンケート調査の方法はデルフォイ法を用いる。 2. 地域ケア推進会議兼学習会（助け合いの実情と足りない活動の把握及び対応策検討） 1の結果を基に、民生委員、自治会、老人会、福祉推進委員等と共に実情把握と足りない助け合いの活動を把握します。その後対応策を協議し、解決の手段を検討するが、“町内”を単位として協議していく。	139,153 円	69,000 円
計				571,153 円	285,000 円
合計				2,157,026 円	956,000 円

第1回 講演会のお知らせ

口を閉じて鼻呼吸

～もっと健康にすごすために～

講師はベロ（舌）の位置を上げて免疫力を高める「あいうべ体操」の考案で有名な今井一彰先生です！薬だけに頼らないメイドイン中央区の健康づくり、まちづくりを進めていきませんか？お誘いあわせのうえ、参加ください！



福岡市みらいクリニック院長

著書 免疫を高めて病気を治す口の体操「あいうべ」、健康でいたければ「鼻呼吸にきなさい」ほか多数

講師から【自分の力で元気になっていった欲しい】

口と鼻は食事と空気の通り道、すなわち命の入り口です。健康な暮らしを送るためには、この入り口をキレイに保つことが秘訣です。ご飯は口で食べます。息は鼻でします。鼻でご飯を食べ、口で息をすると、入り口が汚れてしまいます。汚れた入り口は、汚れた体を作ってしまいます。

正しい鼻呼吸のためには、口を閉じること、口を閉じるためには、舌の位置を正すこと。正しい舌の位置にするには、あいうべ体操。

子どもの頃お母さんの手当が気持ちよかったように、一人一人の方の手に手軽だけれど、とても効果のある治療が行き渡れば、自分自身が"神の手"になることができます。

私の治療は名付けてメイドインジャパン医療（Made in Japan Medicine）、今はそう思っています。メイドインジャパン医療は、医師でなくてもできるものが沢山あります。

日時：平成27年7月5日（日） 10:00～12:00

会場：熊本市男女共同参画センター はあもにい 多目的ホール 定員 150 名

〒860-0862 熊本市中央区黒髪3丁目3番10号

資料代 500 円

申込先 食べて話してつながろう中央区応援隊主催

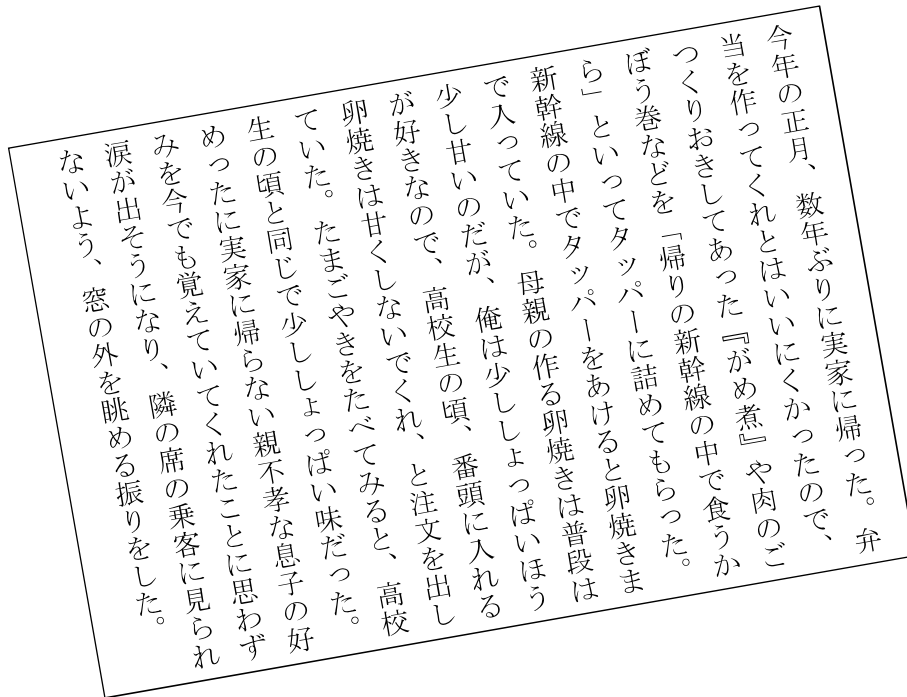
（TEL096-288-1752：ファックス 096-288-1753）

この活動は「平成27年度中央区まちづくり事業の助成を受けています

募集

食やお弁当についての思い出やエピソードを募集しています。

ふるってご応募ください！（記事はインターネットから）



締め切り 平成27年9月30日

応募内容 あなたの「食」に関する思い出やエピソードを書いてください（1000字以内）
お名前や連絡先を忘れずに！

※いただいた個人情報は厳重に管理し、本事業でのみ使用します。投稿の文章は未使用のものでお願いします。投稿後は本隊にすべての権利が移行し、返却しません。

応募方法 郵送かファックスをお願いします。 郵送先 〒861-5535 熊本市北区貢町 780-8
「食べて話してつながろう中央区 応援隊事務局」宛て、ファックス 096-288-1753

賞金総額 100,000 円

表彰式 平成27年11月27日（金）13：30～16：00 までの区民講演会で。

区民講演会 講演 食べたもので心やからだが出来ている （仮称）

講師 比良松 道一 九州大学准教授

※司会をしていただく 小出史氏の 朗読もあります。

第2回 区民講演会 一部

食えることでつながる命の輪

九州大学で大人気の講座「自炊塾」発案・実施の比良松准教授をお迎えします。

簡単で便利で安い食事が横行し、孤食が進化する現代。九大農学部の実験室として、私たちは私たち自身の起源にまで遡って、食のあり方を振り返る必要があるのだと思います。(ブログから)



食の進化論

生態学や進化学をベースとした研究に従事してきた私は、最近、「食のスタイルは進化するのか」ということが気になっていろいろと調べました。そして人類進化学者山極寿一教授の興味深い学説に行き着きました。山極先生によれば、直立二足歩行の進化によって生じた不便が"持ちつ持たれつ"の関係を育み、その結果、共同保育や食の分配行動をもたらしたということです。

未熟な子どもたちを育てるために、一族で家事や仕事を分担し食を分かち合うという行為は、まさに一家団欒の風景。共食スタイルは、私たちが人間であることの証なのです。(インターネットから)

二部 食の思い出エピソード 表彰式

小出史 氏 司会・朗読

日時 平成27年11月27日(金) 13:30 ~ 16:00

会場 熊本市国際交流会館 第3会議室

資料代 500円 (先着90名) ※ 11月1日から受付開始

申し込み先 食べて話してつながろう中央区 応援隊事務局

TEL 096-288-1752 ファックス 096-288-1753

この活動は「平成27年度 中央区まちづくり事業」の助成を受けています。